

秋

いま
新潟大学の魅力と現在を発信

新潟大学季刊広報誌 [RIKKA]

2022.AUTUMN



NIIGATA UNIVERSITY
MAGAZINE

No.

42

授業紹介 -教育の現場-

Enjoy! 学生ライフ

注目される研究報告

教員によるコラム“知見と生活のあいだ”

新大メモリアル写真館 あのとき、あの場所

基金関係のお知らせ

Campus Information

～小児医療と地域社会をつなぐ新たな拠点～

ドナルド・マクドナルド！ ハウスにいがた

特集





Cover Photo

病気の子どもとその家族ができる滞在施設で、国内12か所目、日本海側では初のハウスとなる。多方面から注目を集めるハウスへの期待について特集する。

特集

ドナルド・マクドナルド・ハウスにいがた

／小児医療と地域社会をつなぐ新たな拠点／

2022年10月1日、「ドナルド・マクドナルド・ハウスにいがた」が新潟大学医歯学総合病院のある旭町キャンパスにオープンした。病気の子どもとその家族ができる滞在施設で、国内12か所目、日本海側では初のハウスとなる。多方面から注目を集めるハウスへの期待について特集する。

小児患者と 家族のための 滞在施設

公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン(DMHC)により運営されているドナルド・マクドナルド・ハウスは、自宅から遠く離れた病院に入院している子どもと、治療に付き添う家族のための滞在施設だ。「わが家のようにくつろげる第二の家」をコンセプトに掲げ、小児患者と家族が日常生活をスムーズに送れるよう、炊事ができるキッチンやダイニング、リビング、ランドリールームやブレイルーム、プライバシーに配慮したベッドルームがある。滞在費は人1日1000円。自宅と入院先との二重生活を強いられている小児患者の家族の精神的・経済的負担を和らげる。

【ドナルド・マクドナルド・ハウスの歴史】 フィラデルフィアから始まったストーリー

1974年、米国フィラデルフィアでアメリカンフットボール選手として活躍していたフレッド・ヒルの3歳の愛娘が白血病にかかり、入院することになりました。娘の入院中、彼がそこで目の当たりにしたものは、狭い病室で子どもの傍らに折り重なるようにして寝ている母親、やむなく病院の自動販売機で食事を済ませる家族の姿でした。そこで彼は、病院の近くに家族が少しでも安らげる滞在施設がないのかと考え、病院の近くにあるマクドナルドの店舗オーナーや病院の医師、フットボールチームの協力を得て募金活動が進められました。

そして1974年10月、世界初の『ドナルド・マクドナルド・ハウス』が誕生しました。2022年9月現在、世界45の国と地域に380か所開設されています。(ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン公式ウェブサイトより抜粋)



2022年8月30日のオープニングセレモニー。(左から)
冨田病院長、牛木新潟大学長、五十嵐DMHC理事長、花角新潟県知事、中原新潟市長、日日本マクドナルド株式会社 代表取締役社長兼CEO

2022.AUTUMN No.42

CONTENTS

03 特集

ドナルド・マクドナルド・ハウスにいがた

～小児医療と地域社会をつなぐ新たな拠点～

08 授業紹介 -教育の現場-

09 Enjoy! 学生ライフ

10 注目される研究報告

12 教員によるコラム“知見と生活のあいだ”

13 新大メモリアル写真館 あのとき、あの場所

14 基金関係のお知らせ

16 Campus Information

新潟大学SNS公式アカウント

@niigata.univ

@Niigata_Univ_O

@niigata_university

『六花』とは…

本誌のタイトルでもある『六花』とは、本学の校章のモチーフである“雪の結晶”を表す言葉。本学の校章は、シンボルマークであった学生章をモチーフに本学名誉教授 小磯 稔氏がデザイン化したものです。



題字
野中浩俊(のなか ひろとし)氏
新潟大学名誉教授(教育人間科学部)。専門は、書道、富岡鉄斎研究。現在は、岐阜女子大学 教授



大きな窓がある多目的室／図書室。テーブルは天板に新潟県魚沼産のブナの一枚板を使用。
子ども用の絵本から大人向けの本まで並ぶ

「患者さんとそのご家族のために何ができるのか」を考えることは医療人にとって一番大切なこと

患者さんとそのご家族のために何ができるのかを考えることは医療人にとって一番大切なこと



が手作りしたパッチワークのベッドカバーなど、利用ご家族への配慮を感じる空間に感動しました。病院スタッフ側としては、付き添いが長いご家族、疲れが見えられたご家族に「今日はハウスでお休みにならねたらどうですか」という提案ができるようになります。ご家族の不安な感情はお子さんにダイレクトに伝わります。病院の進む可能性があります。慣れない入院生活の中で、心身をリセットできる環境があることは重要なことです。また、ハウスの存在は、医療人育成の観点においてもメリットがあると期待しています。小児医療の現場は、医療従事者だけでなくボランティアの方々なりに、ご家族のケアを含めてこれまで以上に包括的な医療を考えることができます。そのような現場を目の当たりにし、ご家族のケアを含めてこれまで以上に包括的な医療を考えることができます。

食べられたり、コンビニのお弁当などで済ませている方が多いです。寝るときも、多くのご家族はお子さんのベッドや簡易ベッドでお休みになります。相部屋が多いので、隣のお子さんの泣き声や、トイレや検査の物音で夜中に目が覚め、十分な睡眠をとること

ができません。また、お子さんのこれから診療や将来に対する不安は非常に大きいもの。この状況が数か月以上続くのです」

近年は、新型コロナウィルス感染症拡大防止の観点から面会や付き添い人数も制限され、小児患者

と家族の入院生活はさらに厳しい状況にあった。家族にとって、ゆったり休め気分転換できる時間と場所の必要度は非常に高い。「にいがたハウス」にはどんな期待が寄せられているのか。

「ハウス内の色使い、広いキッチン



新潟大学医学部小児科学教室
齋藤昭彦 教授

が育成されることでしょう。「患者さんとそのご家族のために何ができるのか」を考えることは、医療人にとって「一番大切なことです」

大学病院の使命 課題を解決する

新潟大学医歯学総合病院は、新潟県唯一の特定機能病院として質の高い医療を提供する使命がある。新潟大学将来ビジョン2030でも、医療提供体制の充実による地域医療の課題解決を掲げている。医療の視点とは異なる「患者と家族の気持ちを穏やかに保つ」というドナルド・マクドナルド・ハウスの存在は、小児医療と地域情報を共有し、職種を超えたつながりは新潟における小児医療の新たな基盤形成に大きな効果を發揮していくはずだ。大学病院でしか救えない命のために、新潟大学医歯学総合病院は、「にいがたハウス」とともに歩みを進める。

「本當に些細なことですが、ボランティアのみなさんはそういう瞬間を大切にしています。ハウスで過ごす時間によって家族の方が笑顔になると、それが伝わり病気のお子さまも笑えるようになるんだそうです。世界中にはハウスの数だけ、利用者数だけストーリーがあります。『にいがたハウス』のストーリー

ンスで患者さんとご家族を支えるという思いを共にしています。ボランティアは「ほどよい距離感を保つて接する」ことを大切にし、「聞いてほしいことは聴いてさしあげる」「言わなくてよいことは言わない」という点を意識しています」

利用家族からは「距離感がは感じてさしあげる」「言わなくていいことは言わない」といっても心地よかつた」「孤独感が癒された」「自分に戻る時間が聴きた」「自分の感謝の言葉をしばしば受け取る」という。いつでも心地よかつた」「孤独感が癒された」「自分が戻る時間が聴きた」「などの感謝の言葉をしゃべらせてもらいました」

ボランティアの張りつめた気持ちをほぐしている。「本当に些細なことが、ボランティアのみなさんはそういう瞬間を大切にしています。ハウスで過ごす時間によって家族の方が笑顔になると、それが伝わり病気のお子さまも笑えるようになるんだそうです。世界中にはハウスの数だけ、利用者数だけストーリーがあります。『にいがたハウス』のストーリー

が新潟のボランティア文化を醸成し、地域への貢献につながる考えています。昨年は、日本におけるドナルド・マクドナルド・ハウスの運営開始から20年の節目でした。長く運営していると、ボランティアに参加される方々の中には、ご自身が子どもときに闘病したり、ご家族がハウスを利用されたという方がいらっしゃって、感慨深いものがあります。『にいがたハウス』は日本海側で初めてのハウス。これまで地理的にカバーされていなかった患者さんとご家族のお力にもなれたらと思います」

「遠方から入院するお子さんのご家族は、お子さんに付きつきりで病室で一緒に生活されます。病棟にお風呂やシャワーはあります。『にいがたハウス』は日本海側で初めてのハウス。これまで地理的にカバーされていなかった患者さんとご家族のお力にもなれたらと思います」

者本人はもちろん、家族も多くの困難を抱えている。実際の医療の現場にはどんな課題があるのか。新潟大学医学部小児科学教室の齋藤昭彦教授に聞いた。

**家族に寄り添う
未来の医療人育成の一助になる**



【第二の我が家に向けて】

「にいがたハウス」ハウスマネージャー
稻川欣也さん



ハウスの運営はボランティアの方たちによって支えられています。ボランティアの活動内容は、日中は掃除やベッドメイクのチェックなどのハウスキーピングやチェックイン・アウトの対応、夜間は施設内の見回りなど、利用ご家族が安心して過ごせ

るように努めます。身のまわりの掃除や食事の支度は利用ご家族が行います。各部屋にはテレビはありません。少しでも共用スペースで情報共有やコミュニケーションのきっかけを作っていただければという思いからです。「病気の話より、日常の話を」という方が多いように思います。新潟県は南北に長く、同じ県内でも数時間もかけて病院に来られる方も多いですし、雪国ですので冬は通常の数倍の時間がかかる方もいます。そういう方々が少しでもご自分の家のように安心して利用いただけるハウスをつくっていきたいと思います。1人でも多くの方に知っていただきご支援いただけけるよう、積極的に活動していきたいと考えています。

「にいがたハウス」
ボランティア
鈴木朋子さん



私は仕事上、入院するお子さんのご家族と関わることが多くありました。

今回、開所されると知り、微力ながらお手伝いさせていただきたく、応募しました。心を込めて丁寧にお掃除をしたり、落ち着いてチェックイン・アウト業務をするなど、ご家族にそっと寄り添えるような活動を心がけています。他のスタッフの方とも協力し、利⽤して良かったと思っていただけるよう頑張ります。

家族の笑顔は病気の子どもに伝わる 「にいがたハウス」のストーリーが 新潟のボランティア文化を醸成する

Enjoy! 学生ライフ

新潟大学の学生は、勉学はもちろん
部活やサークルなどの課外活動でも活躍しています。
このページではそんな青春の1ページをお届けします。



↑2022年は、東日本選手権 舵手なしペア3位、北信越ブロック国体出場、全日本大学選手権 シングルスカル全体15位、舵手なしペア全体18位などの成績を収めた

ボート部

「一番早い艇が勝ち」という単純さと、 艇を進める技術の奥深さが魅力

部員数は24名。入部後に初めてボートに触れる初心者も多い。「『一番早い艇が勝ち』という単純さと、艇を進める技術の奥深さがボート競技の魅力。日本では少々マイナーな印象がありますが、世界全体では競技人口が多くメジャーなスポーツです」。活動は基本的に1限の前に行う朝練習。五十嵐キャンパスから自転車で30~40分移動し、新潟市中央区上所にある信濃川沿いのボート艇庫に向かう。夕方より朝のほうが川面の波

が穏やかで練習がしやすいという。悪天候や風で波が立ち、川で活動できない日は、ボート艇庫にあるトレーニング器具で体を鍛える。ボートはとても高価。レース艇は一人乗りでも中古車を買えるくらいの値段がする。「大会の際のボート運搬費が約30万円かかるなど費用面の負担は少なくありません。部が保有するボートには、OBの方などから寄付いただいたものもたくさんあります。ボートや道具はいつも大切に使っています」

練習は週6日。
信濃川に拠点を
置き活動する



新潟大学公式アプリ配信開始

在学生、受験生、卒業生向けの
情報をコンパクトにまとめ、
隨時お届けします！
ぜひダウンロードください。

App Store Google Play



西海理之 教授

Tadayuki Nishiumi

Profile 農学博士。専門はライフサイエンス、食品科学。超高压を用いた食品加工に関する研究を行っている。



「生物学実験」は農学部の応用生命科学プログラムと食品科学プログラムの3年生が1学期第2タームで受講する。化学実験などによる基本的操作・技術の習得を目指し、高等生物（動物・植物）や、より複雑な自然界の解析法を学ぶ。生物学実験の第12回～第18回（生物学実験Ⅱ）では、「筋肉

に関する実験」を行う。担当の西海理之教授に話を聞いた。

「生体を構築している組織の機能を理解するために、筋肉タンパク質に関する実験を行います。オンラインの講義の後、実際に実験室で各班に分かれて筋肉からのタンパク質の単離、タンパク質・遊離リン酸定量、筋肉

実験を組み立て分析する力を養い
4年生の卒業研究につなげる

意欲ある学生が伸び伸びと勉学に勤しむ

授業紹介

—教育の現場—

専門的な知識や技術の修得と、均整の取れた知識の獲得は教育の重要な役割。約5,000科目の中から特色ある授業を紹介。

農学部



STUDENTS VOICE



左: 佐藤樹さん
(農学部応用生命科学プログラム3年)

右: 杉澤さやさん
(農学部応用生命科学プログラム3年)

「準備や実験、レポートと大変ですが2年次より専門性が増してやりがいがあります。自分の力で実験が進められるようになりたいです」(佐藤)
「実験は毎回、正確さが求められるので緊張します。昨年はオンライン授業が多くだったのでグループで行う実験は楽しいです」(杉澤)

ATPase活性の測定を行い、骨格筋の筋肉タンパク質の構造と生物活性を調べ、筋収縮の仕組みについて理解を深めます」

西海教授が重視しているのが予習だ。学生には事前に実験手法テキストが配付され、プロトコル（事前レポート）の作成が課される。「生物学実験Ⅱ」の場合、準備に3~4時間はかかるといふ。さらに実験後、1ヶ月

「科学で大事なのは自分で論理を組み立て、思考の流れを作ること。実験後のレポートは単なる結果報告ではなく、どのような過程から結果が導かれたかを分析し、理解することが重要です。科学は好奇心が大切。実験が学びの刺激になつてほしいと思います」

2022年
10月オープン

病気と闘う子どもと、
その家族が一緒にいられますように。

—小児医療宿泊施設— ドナルド・マクドナルド・ハウス にいがた

ハウスの運営は100%皆様からのご寄附で支えられています。温かいご支援をよろしくお願ひいたします。



詳細は

新潟大学 ドナルド・マクドナルド・ハウス にいがた

検索

心



お問い合わせ：ソポーター連携推進室 TEL : 025-262-6010 E-mail : kikinjmu@adm.niigata-u.ac.jp

注目される 研究報告

新潟大学では、伝統的な学問分野を継承するとともに、専門分野を超えて連携し合う研究や、先端的な研究など、真理探究や社会の発展に貢献する研究を行っています。

研究
課題

日本のスナップ写真史

日本写真史における「スナップ」の系譜をたどり スナップ美学の実態と変遷に迫る

記念写真や広告写真、科学写真など、写真には様々な社会的用途があり、それぞれにルーツや意義が存在する。甲斐義明准教授は、美術的観点から捉えた写真の歴史や文化の変容について、作品や資料をもとに紐解く。

「写真を芸術として確立しようとする



人文学部
甲斐 義明 准教授

Profile | 博士(美術史)。専門は写真史、近現代美術史。日本とアメリカの写真の歴史について研究。著書に「ありのままのイメージ:スナップ美学と日本写真史」など。



▲担当する「表現プロジェクト演習」の授業で履修学生が制作したフォトモンタージュ



▲主な著作物
自然さに最高の価値を見出すという彼らの価値観や感性が受け入れられた結果、『スナップ美学』として確立していったのだと考えられます

動きは19世紀半ばのヨーロッパで始まり、その後アメリカや日本へ浸透していました。どのような作品がアートとみなされてきたのか、写真家たちがどういった活動をしてきたのかを歴史的背景と照らし合わせながら分析しています。その中で『スナップ』と呼ばれる撮影技法に焦点を当て、日本における芸術写真の位置付けや考え方がどのような展開を遂げているのかを研究しています

スナップ写真とは一般的に「カジュアルな写真」「簡単に撮った写真」といった意味で使われるが、写真界では「カメラに気付いていない被写体を自然に、率直に撮る写真」という意味を持つ。日本ではこの技法が諸外国と異なる独自の文化を形成しただけでなく、ひとつの美学として写真表現の歴史の中心的位置を占めてきたと、甲斐准教授は説明する。

「昭和初期から中期にかけて活躍した木村伊兵衛や土門拳といった写真家たちの影響もあり、『スナップこそが最も重要な写真であり、写真美学の王道』という考えが日本の主流でした。当時の作品を精査しても、演出されていない場面を切り取ろうとしたものが多く、新たなジャンルを開拓したことなどが読み取れます。ありのままの表情や

「スマホをはじめ、急速なデジタル化により写真と動画の境界線があいまいになり、加工技術の発展も相まってスナップそのものの定義が揺らぎつつあります。それでも、スナップにはその瞬間をありのままの姿でとらえておきたいという欲求を満たす役割が根底にあり、写真家たちのスナップ美学に対する考え方や理念は、形を変えつつ今なお受け継がれています。メディアの多様化が著しい現代において写真がどのような社会的・芸術的意義を持つのか、これからも探究していきたいです」

特別なあなたに 特別な1枚 「新潟大学カード」

新潟大学全学同窓会では、三菱UFJニコスと提携して、ゴールドプレステージの「新潟大学カード」を発行しています。多くの特典を享受できるとともに、新潟大学の支援にもつながります。入会のお問い合わせは全学同窓会まで。



入会受付中！

新潟大学カードに関するお問い合わせ先

新潟大学全学同窓会事務局

電話：025-262-7891

(受付時間 平日 10:00~15:00)

E-mail : n-doso@adm.niigata-u.ac.jp

特典 年会費無料 海外・国内旅行傷害保険付き(最高3,000万円) 国内主要空港のラウンジが無料

研究
課題

コンピュータで読み解く 生命医科学の世界

バイオインフォマティクス技術を活用して 新しい視点からがん医療に取り組む



大学院医歯学総合研究科(医)
奥田修二郎 教授

Profile | 博士(理学)。新潟大学医学部メディカルAIセンター長。専門はバイオインフォマティクス。

奥田修二郎教授の専門であるバイオインフォマティクスとは、生命科学(バイオ)と情報科学(インフォマティクス)の融合で、生物が持っている情報をコンピュータで解析する分野だ。「ヒトの遺伝子数は2万個以上と言われています。それを解析するときに目

視で数え、人の手で1つ1つ処理するのは現実的ではありません。コンピュータを使い、大量のデータからその意味や特徴を解析するために、バイオインフォマティクスの技術を応用しています」

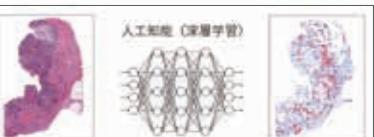
ヒトDNAの全塩基配列を解読するプロジェクト「ヒトゲノム計画」で用いられた次世代シーケンサー(遺伝子の塩基配列を高速で解読する装置)が登場した2000年代中盤以降、生物・医学研究が加速度的に進展し、膨大なデータを処理するバイオインフォマティクスの存在感が増してきた。新潟大学医歯学総合病院でも、がんの原因となる遺伝子変異でがんを分類し、体質や病状に合わせた個別化治療を行うゲノム医療が行われている。バイオインフォマティクスによるデータ解析のニーズは高い。

「患者さんと直接接することはありますが、治療のためのデータを処理するという点でバイオインフォマティクスは医療を支える重要な役割を担うと思います」

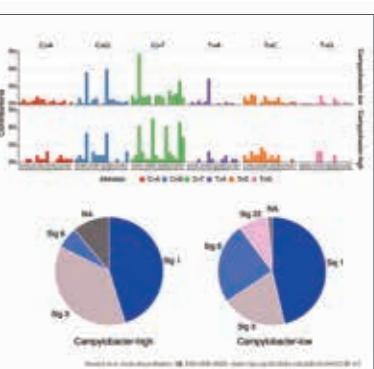
現在、奥田教授が進めている研究は、腸内細菌叢解析、がんゲノム解析、病理組織の画像解析、データベース開発の4つが大きな柱となっている。

「病理組織の画像解析により、がん組織の遺伝子変異や病態を推測するための研究を行っていますが、これに人工知能を用いてアプローチしていきたいと考えています。また、最近、がん発症の原因に、がん組織に共生するバクテリアが関連している可能性があることが分かってきました。これま

であまり注目されてこなかった分野で、新しい視点でのがん対策につながればと期待しています。バイオインフォマティクスは他の研究分野の発展を下支えする縁の下の力持ちの存在になることが多いですが、データ解析を通じてがんの治療の改善や予防に貢献できたらと思っています。自身の研究推進と同時に人材育成にも力を入れ、医学部や医療全体を盛り上げていきたいです」



▲人工知能で病理画像から遺伝子変異の状態を予測できる



▲Mutational signature解析から腫瘍内細菌叢が原因の癌が示唆される

新潟大学キャンパスライフ支援センター・キャリア・就職支援オフィス

CAN システム

卒業生と新潟大学生をつなぐ、キャリア形成サポートの新しいカタチ！
卒業生と学生をつなぐCANシステム

CANシステムとはWeb上のシステムを介して、学生の就職活動やキャリア形成をサポートしていただくシステムです。
社会の先輩として学生たちの悩みや不安にアドバイスをお聞かせください！



卒業生の皆様のご登録をお待ちしています！

新潟大学 CAN システム 検索 URL https://www.career-center.niigata-u.ac.jp/



新潟大学基金

（団体）朝日大学歯学部口腔病態医療学講座障害者歯科学分野 NPO法人口から食べる幸せを守る会 医療法人ENGAGE あい訪問歯科クリニック 一瀬浩隆
小貫歯科医院 鹿児島大学歯学部同窓会 鹿児島大学小児歯科 山崎要一 他医局員一同 かつき歯科クリニック院長 勝木雄大
川崎歯科医院 川崎隆憲 河村歯科医院 河村康二 株式会社京料理花萬 代表取締役 吉田恵子 くにたけ歯科クリニック
クロスウィルメディカル株式会社 澤田歯科医院 澤田宏二 一般社団法人山陰言語聴覚士協会 株式会社ジェイ・エム・エス SHIKIEN株式会社
医療法人社団長谷川歯科 医療法人真仁会五泉中央病院 株式会社シンワ歯研 医療法人誠心会吉田病院 理事長 吉田英毅
竹内歯科医院 竹内吉三郎 株式会社タケショウ ティーアンドケー株式会社 株式会社ティモルギア 代表取締役社長 長沼茂夫
医療法人社団 デンタルクリニック ツチヤ 利根歯科診療所 医療法人NINE NETWORK 竹山歯科口腔医院 竹山旭
一般社団法人新潟市歯科医師会 新潟大学歯学部同窓会 新潟大学小児歯科学分野 新潟南病院 渡部透 株式会社西村書店
日本ゼットック株式会社 医療法人社団 野坂歯科医院 フジツコ株式会社 ヘンリーシャインジャパンイースト株式会社新潟支店
ホリカフーズ株式会社 前川歯科クリニック みえ呼吸矯正リハビリクリニック 井上登太 宮本歯科医院 宮本重樹
明倫短期大学学生総合支援センター 医療法人優寿会本山歯科医院 竹内俊充 ユニテックフーズ株式会社特販部 横山歯科医院
吉川歯科クリニック 吉川浩郎 米沢市歯科医師会

■トピックス

ドナルド・マクドナルド・ハウス にいがたへのご寄附者様と学長との懇談会を開催しました。
8月30日(火)に、開所式を終えたばかりのドナルド・マクドナルド・ハウス にいがた(にいがたハウス)の図書室をお借りして、新潟大学を通じて、にいがたハウス建設・運営へご寄附いただいた皆様と本学学長との懇談会を開催いたしました。
当日は、医歯学総合病院の富田病院長も出席し、牛木学長と共にご寄附者様へ謝意を述べさせていただきました。
ご寄附者様からは、ご寄附のきっかけ、にいがたハウスの運営や本学への支援に関する想いなどをお話しいただき、和やかに歓談させていただきました。
懇談終了後は、にいがたハウスのハウスマネージャー稻川欣也様のご協力により、にいがたハウス内をご案内いただき、ご参加いただいた皆様には、新潟県にはじめて建設された、「お家から遠く離れた病院に入院しているお子さんとご家族のための第二の我が家」を一足早くご体感いただきました。
新潟大学では、にいがたハウス建設後の運営費用に関する募金を継続して募っております。引き続き温かいご支援を何卒、よろしくお願いいたします。



新潟大学サポーター倶楽部

■目的 継続して新潟大学を支援するため、倶楽部年会費の全額を「新潟大学基金」に寄附します。
また、会員様へ本学の情報発信を行い、新潟大学と会員及び地域社会との連携と発展を目指します。

■寄附者名簿 (R4.6~R4.8入会・更新分)※(50音順 敬称略)

【更新】（個人）桑原 優子 森 正勝

（団体）開進工業株式会社 一般社団法人新潟県経営者協会 木山産業株式会社 藤村クレスト株式会社
グローバルウェーブ・ジャパン株式会社 株式会社ジェイ・エム・エス 東日本電信電話株式会社埼玉事業部新潟支店
株式会社ジョイフルタウン 損害保険ジャパン株式会社新潟支店 ミサワホーム北越株式会社 株式会社シアンス

最新の会員名簿は、右のURLからご覧いただけます。 <https://www.niigata-u.ac.jp/university/donation/supporters/>

新潟大学リサイクル募金

■目的 皆様から読み終えた本・DVD等をご提供いただくと、その査定額が新潟大学に寄附されます。
寄附金は学生の修学支援をはじめとした事業に役立てられます。

■寄附者 (R4.6~R4.8寄附金分)

（個人）12名 （団体）6団体

遺贈によるご寄附

■遺贈とは
遺言により、ご自分の築き上げられた財産を特定の方々に寄附することを遺贈といいます。
この方法で所有しておられる資産の一部を、新潟大学に遺贈したいとお考えの方のため、高度な専門性と豊富な経験を有する銀行と提携し、その手続きの便宜を図るものであります。
遺贈による寄附のご利用を希望される場合やご不明な点がある場合は、下記お問合せ先へお問い合わせください。

あたたかいご支援、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

「興味がある」「詳しく知りたい」「寄附したい」とお考えの皆様へ

詳しい資料をお送りいたしますので、お問合せ先までご連絡願います。新潟大学ホームページでも詳細をご覧いただけます。

お問合せ先 新潟大学サポーター連携推進室 TEL 025-262-5651・6010・6356 E-mail kikinjimu@adm.niigata-u.ac.jp
HP <https://www.niigata-u.ac.jp/university/donation/>

一学生の輝く未来を共に創る－ 基金関係のお知らせ

地域の中核を担い国際社会で活躍する人材を輩出するため、「学生の修学支援」「国際交流」「教育施設整備」の推進を目指しています。

新潟大学まなび応援基金

■目的 経済的理由により修学が困難な学生に対して、修学支援事業を行います。

令和2年度からは、「輝け未来!!新潟大学入学応援奨学金」「新潟大学大学院博士課程奨学金」「新潟大学修学応援特別奨学金」及び「新潟大学業成績優秀者奨学金」の支援に加え、「新型コロナ対策緊急学生サポートパッケージ」により、修学・学生生活支援及び経済支援を行っております。

■寄附者名簿 (R4.6~R4.8寄附金分)※(50音順 敬称略)

（個人）江口 正樹 遠藤 国勝 大西 政司 大貫 俊二 金子 峰 田代 文俊 外山 久泰 鳴海 多賀子 笛木 隆弘
逸見 和宏 棟方 隆一 吉塚 康一

匿名希望17名

～優秀な大学院生の研究を応援～ 新潟大学研究等支援基金

■目的 学生等又は不安定な雇用状態にある研究者への研究等を支援する事業を行います。

令和4年1月に創設し、「新潟大学フェローシップ支援」「未来のライフ・イノベーションを創出するフロントランナー育成プロジェクト」により、大学院生の研究費支援を行っております。

■寄附者名簿 (R4.6~R4.8寄附金分)※(50音順 敬称略)

（個人）金子 峰 匿名希望6名 （団体）匿名希望1団体

新潟大学基金

■目的 新潟大学の基盤整備、企業や地域社会との連携、教育・研究活動支援、国際交流活動支援、学生のための厚生施設整備などを推進する事業を行います。

■寄附者名簿 (R4.6~R4.8寄附金分)※(50音順 敬称略)

（個人）相原 聰 新井 裕哉 飯澤 克 石本 智恵子 猪俣 博 今井 ありん 今井 かおり 今村 孝 岩崎 正始	大久保 優美 大里 瑞栄 尾崎 敏明 尾見 雅文 音田 則男 笠原 隆 加藤 優一 小玉 真梨子 小林 俊裕	金子 峰 上村 顕也 北見 麻衣 廣瀬 俊裕 紅露 一寛 五箇野 幹子 佐藤 弘恵 鳴原 明	小本 旬 近藤 史朗 坂本 秀一 佐藤 新一 佐藤 高大 佐藤 和也 相場 英勝 高島 朗 高橋 純里	芝井 太郎 菅又 正剛 鈴木 芳造 砂山 茂 関 和也 寺田 剛 外山 久泰 内藤 哲也 長尾 賢治	武田 澄江 建入 芳昭 土田 健一 坪内 薫 寺田 剛 外山 久泰 馬場 和幸 漢田 一成	中野 ひとみ 中村 喜彦 長山 昌利 西澤 元良 野口 晴昭 橋本 茂久 保坂 清 星 淳子 保里 正則	日野 長臣・日野 てつゑ 平野 隆久 岸田 昭美 福本 和佐男 保坂 清 星 淳子 増田 淳 渡辺 健寛	松原 幸治 松山 勇仁 宮川 貴浩 宮下 正弘 山下 藤美雄 山田 寛喜 吉井 雅栄	飯澤 克 石本 智恵子 猪俣 博 今井 ありん 今井 かおり 今村 孝 岩崎 正始	飯澤 克 石本 智恵子 猪俣 博 今井 ありん 今村 孝 岩崎 正始
--	--	--	---	--	---	--	--	--	---	------------------------------------

（団体）越後製菓株式会社 株式会社川崎商会 コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社ベンディング新潟支店

三条市農業担い手協議会 サントリービバレッジソリューション株式会社 CEC新潟情報サービス株式会社

住友林業株式会社住宅・建築事業本部新潟支店 株式会社ツガミ 新潟大学医学部学士会 日本精機株式会社

日本海エル・エヌ・ジー株式会社 株式会社ネクスコ・エンジニアリング新潟 橋本耳鼻科クリニック 医療法人社団春陽会みなみ歯科医院

株式会社ヒュラ 北越コーポレーション株式会社 北陸ガス株式会社 明和工業株式会社 株式会社和光ベンディング

匿名希望8団体

《クラウドファンディング》

プロジェクト名：摂食嚥下障害の在宅診療を支える、情報連携の仕組みづくりを新潟から！／プロジェクト実行責任者：井上 誠

（個人）会田 生也 赤坂 幸恵 浅見 浩之 阿志賀 大和 安島 久雄 足立 融 安達 大雅 新井 是英 有馬 敬	栗屋 剛 安藤 栄吾 飯泉 智子 飯田 貴俊 五十嵐 敦子 井口 清太郎 石井 一裕 石井 希	石井 雄介 石龜 裕通 泉 緹子 泉 徹 依田 浩子 板井 進悟 伊藤 和智 稲川 拓磨	稻田 絵美 稲葉 隆 井上 昂也 井上 達朗 岩森 大 上原 達明 宇野 秀 鶴谷 裕子 宇野 秀	浦島 岳二 江口 悠美子 江尻 貞一 遠藤 亜由美 大口 紗美 大久保 明 大久保 昇 太田 浩太郎 大塚 和朗	大西 淑美 岡田 匠 岡安 一郎 尾崎 豊実 小澤 賢一 小田島 あゆ子 落合 勇人 小野 堅太郎 小幡 裕明	折居 千恵子 折笠 紀晶 加賀美 一恵 加賀美 慶 梶山 理恵 加藤 優希 金子 真美 金子 裕美子 金子 裕美子	神田 知佳 神成 康二 岸本 奈月 吉津 和憲 清田 学 國枝 顯二郎 熊谷 亞子 乾立 常行 乾立 常行	河野 雅之 高福子 古志 納緒美 齋藤 孝二 斎藤 晴美 堀井 翔悟 井上 翔悟 佐藤 慎一 佐藤 慎一	坂ノ下 典正 坂 暢晃 笹 杏奈 佐藤 厚 佐藤 敦司 重谷 寧子 重谷 寧子	佐藤 幸生 佐藤 義英 佐野 明彦 植野 良隆 志賀 博 杉本 皓 杉山 康一郎 下畠 良	上路 敏一 白石 成 白野 美和 新川 いくみ 菅野 亜紀 杉本 皓 杉山 康一郎 鈴木 滋	鈴木 拓 鈴木 基 鈴木 善貴 鈴木 梨紗 砂田 圭介 関上 幸子 関上 幸子	高井 晃 高木 律男 高野 聰造 高橋 直紀 高橋 良明 高橋 佳男 竹石 龍右	竹井 亮・絵理 竹之内 辰也 田澤 貴弘 横田 泰昌 田中 淳 田中 佑人 谷口 裕重 谷口 裕重	田村 知丈 塚田 しげみ 塚田 徹 辻村 恽憲 寺尾 浩子 土井 敦子 登坂 邦彦 富所 俊恵 内藤 義隆	永井 徹 永井 博子 永井 正志 中尾 真理 中川 喜晴 中澤 桂一郎 中島 郁夫 中島 郁夫	中村 史朗 中村 由紀 那小屋 公太 西嶋 和隆 西根 恵子 西村 美貴 西本 純 西山 真悟	野村 隆 羽尾 直仁 箱守 玲香 橋浦 由記子 長谷川 博 花田 晃治 早崎 治明 人見 琢也	林 宏和 速水 いづみ 原田 和昭 張替 徹 坂東 達矢 引間 愛優美 久松 德子 本間 正美	廣澤 利幸 福岡 達之 藤田 一 藤橋 夏子 古谷 茂 堀野 一人 本田 友子 丸山 亮	前田 留美子 牧野 繁 益田 慎 町田 直樹 松香 芳三 松崎 正樹 松島 一雄 宮岡 里美	萬田 陽介 水野 吉広 道見 登 美藤 弘純 皆木 省吾 三村 健 宮岡 里美	村田 雄子 森下 元賀 森 隆志 紋谷 光徳 安田 昌代 八幡 晶子 山下 智 吉原 翠	山村 千絵 渡邊 賢礼 山本 真也 山本 悠 横山 友徳 吉田 教明 吉原 翠
--	---	--	---	--	---	---	---	--	---	---	--	---	--	---	---	---	---	---	---	--	--	---	--	---

匿名希望198名

Campus Information

地域に密着しながら様々な活動を続ける新潟大学。皆さんにお伝えしたいニュースはたくさんあります。

フォッサマグナミュージアム連携看板上掲式を開催しました

本学では、五十嵐キャンパス理学部棟にて、2022年8月19日にフォッサマグナミュージアム連携看板上掲式を開催しました。本学理学部と糸魚川市教育委員会は、「新潟大学理学部と糸魚川市教育委員会との連携に関する覚書」を2020年7月7日に締結。さらに、この連携をより具体的なものにするため、同年11月28日には、新潟大学理学部サイエンスミュージアムと糸魚川市のフォッサマグナミュージアムを相互にサテライトミュージアムと位置付ける申合せ書を締結しました。本上掲式は、申合せ書締結の記念として、米田徹糸魚川市長、鶴本修糸魚川市教育委員会教育長、竹之内耕フォッサマグナミュージアム館長及びフォッサマグナミュージアム学芸員をお招きして開催したもので、新型コロナウイルスの影響により当初日程での実施を延期し、このたびの開催となりました。当日は、サイエンスミュージアム前でのセレモニーの後、大鳥範和理学部長、松岡篤理学部サイエンスミュージアム館長らを交えて、両ミュージアムの将来について語り合う意見交換会を実施しました。



令和4年度文部科学省「大学の世界展開力強化事業」に採択されました

令和4(2022)年度文部科学省「大学の世界展開力強化事業」は、「インド太平洋地域等との大学間交流形成支援」として公募が行われ、本学が申請した取組「インド太平洋地域の『仮想フィールド』を利活用したハイブリッド型フィールド科学人材育成プログラム」が採択されました。本事業で交流するインド、オーストラリア、スリランカの3ヶ国と日本は、自然環境に関わる様々な課題を抱えています。これらの課題は、SDGsのゴール⑬あるいは⑪のように、世界各国共通の未達成課題でもあります。本事業では、各国ならではの課題や自然教材および教育方法を、「仮想フィールド」としてオンライン上に集結し、グローバルな観点で活動できる地球のプランナーを育成するための教育プラットフォームを構築します。4ヶ国・10大学の学生は、まず、オンラインでのグループワークを伴う仮想フィールド実習、その後、渡航型のフィールド実習に参ります。チームで課題に取り組む短期プログラム、個人として課題解決能力を養う中・長期プログラムによって、オンライン協働学習の成果を現場で確かめます。参加学生は、資源・エネルギーインフラ整備などに携わる「フィールド系の技術者」や、環境に関する新しい産業の創出者となることが期待されます。また、SDGsの未達成課題に対して、解決方策を提示できるリーダー的な人材にもなりうることを想定しています。



カーボンニュートラル融合技術研究センター発足記念講演会を開催しました

本学研究推進機構は、2022年9月14日、「カーボンニュートラル融合技術研究センター(IRCNT)」の発足を記念し、企業や他大学等からの約60名を含む、約180名の参加者を迎える講演会を開催しました。IRCNTは、カーボンニュートラルを実現するために太陽熱利用分野、太陽光発電分野、水電解分野の世界最高水準の研究開発を推進し、早期の社会実装に取り組むことを目的に掲げ、太陽熱利用、太陽光発電、水電解の研究分野のトッププランナーである新潟大学の研究者が中心となり発足した研究推進機構附置コア・ステーションです。当日は、文部科学省大臣官房の林孝浩審議官(研究開発局担当)、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の久木田正次理事、新潟県の花角英世知事よりご祝辞をいただき、記念講演では、東京大学教養教育高度化機構の松本真由美客員准教授から、国内外の環境・エネルギー政策の最新動向について、また、NEDO技術研究戦略センター・サステナブルエネルギーユニットの仁木栄ユニット長からエネルギー技術の展望について紹介がありました。また、同センター長の児玉竜也教授、副センター長の増田淳教授及び八木政行教授から技術紹介の説明があり、講演会終了後には、関連研究設備の見学会が実施されました。

